

『中小企業会計啓発・普及セミナー』開催

9月14日(木)に福岡県中小企業振興センタービルにおいて、「中小企業会計啓発・普及セミナー」を開催しました。本セミナーは、中小企業の会計に関する基本要領（中小会計要領）について、その意義と導入上の留意点等を広く啓発・普及することにより、企業の「経営分析力」、「資金調達力」、「受注拡大力」を強化することを目的として、(独)中小企業基盤整備機構と共催にて開催しており、本年度で6回目の開催となり、県内中小企業の事業主、経理担当者38名（32社）の方々が参加されました。当日は午前の基本編と午後の応用編の2部構成で、基本編では貸借対照表と損益計算書の基本的な見方について学び、応用編では実際に自社の決算書を分析して経営状況について把握するという内容で実施しました。

アジア太平洋マネジメント代表の青木 道生様を講師に迎え、自社の経営状況を客観的に分析して問題点を洗い出して対策を講じることができる様に具体的な事例を基にした講義内容で、受講者は熱心にメモを取り、活発な質疑応答により終了時間を延長するほど有意義なセミナーとなりました。



会場の様子



アジア太平洋マネジメント代表 青木 道生 氏

～講師紹介～

アジア太平洋マネジメント 代表 青木 道生 氏

金融機関出身の経営コンサルタントとして中小企業の財務対策の立案を専門分野とする。

中小企業大学校等、講義歴多数。

本セミナーの内容と効果は以下のとおりです。

内 容	→	効 果
貸借対照表や損益計算書を基本から分かり易く解説	→	貸借対照表や損益計算書の読み方が分かるようになる
利益は出たけど、お金が残っていないのはなぜ？	→	自社の過去をひも解き、現在の立ち位置を把握し、それに応じた未来の拓き方がわかるようになる
財務分析って、過去だけでなく、未来も拓けるの？	→	自社の解決すべき課題が、財務的見地より明らかになる
机上の空論に留まらない、実務に即した財務分析ってどうするの？	→	銀行員や税理士等と、財務について対応に近い水準にて話ができるようになる

お問い合わせ 情報取引推進課 TEL：092-622-6680

BUSINESS SUPPORT FUKUOKA



2017.vol.186
ビジネスサポート ふうおか

